

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 片柳学園		平成25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	コンサート業界・音楽業界で活躍するために必要な「技術」「知識」に加え、魅力的な人物として成長できるための柔軟な発想といかなる場合においても素早く行動できる実践力を養う。						
分野		課程名		学科名		専門士	
文化・教養		芸術専門課程		コンサート・イベント科		平成7年文部科学大臣 告示号外第148号	
修業年限		昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験
2 年		昼間	1740	1020	0	1500	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
560 人		686 人		14 人		16 人	
単位時間		総教員数		30 人			
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定	
長期休み		■学年始:4月1日～ ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月17日～3月31日		卒業・進級 条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること	
生徒指導		■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動		■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、 体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有	
就職等の 状況		■主な就職先、業界等 PRG(株)、(株)ポニーキャニオンアーティスト、 (株)アップフロントインターナショナル、(株)総合 舞台、(株)エンジニア・ライティング、(株)クラブ チッタ、四季(株)、(株)SOGO東京、ヒビノ(株)、 (株)ソニーミュージックエンタテインメント、(株)芝 浦スタジオ、(株)LDH、(株)共立、日本ステージ (株) ■就職率※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 83.3 % ■その他 テレコムサービス(株)、(株)ペイエフエム、松竹 衣装(株)、(株)ノアサウンドスタジオ、(株)大日 商事、(株)バルデラマ、三穂電機(株)、(株)黒 澤フィルムスタジオ (平成 27 年度卒業者に關する 平成28年5月1日 時点の情報)		主な資格・ 検定等		ビジネス能力検定(B検)ジョブパス 舞台機構調整技能士 イベント検定 玉掛け技能講習 小型移動式クレーン運転技能講習 高所作業車運転特別教育 フォークリフト運転特別教育 低圧電気取扱特別教育	
中途退学 の現状		■中途退学者 50 名 平成27年4月1日時点において 在学者 578 名 平成28年3月31日時点において 在学者 528 名 ■中途退学の主な理由 進路変更(就職・進学)、経済的理由、病氣治療、成績不良 等 ■中退防止のための取組 担任による定期的な面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 職員会議による職員間での情報共有。経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		■中退率 8.7 % (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ		http://www.neec.ac.jp/					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

コンサート・音楽業界に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。  
また、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	①
杉山 一夫	株式会社リンキィディンク 代表取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
今井 常夫	PRG株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長 ミュージックカレッジ カレッジ長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
中村 英詞	日本工学院専門学校 コンサート・イベント科 科長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数は2回の予定、開催時期は9月及び3月の予定

(開催日時)

第1回 平成28年3月22日 13:00～15:00

第2回 平成28年9月7日 10:00～12:00

第3回 平成29年3月予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会から、議事録は新入社員に書かせる企業も多く、文章を要約してまとめるスキルが直ぐに必要なため、新聞記事を要約させて要望があった。現在キャリアデザイン科目で新聞記事要約の取り入れて授業内容を改善し反映させる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コンサート制作・運営・進行・オペレートの実習において、実践的な指導を受けるためにコンサート・音楽業界での実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあたっては各分野で必要となる知識、技術、感性を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

コンサートプロモーターのホットスタッフプロモーションとの業務提携に於いて、現在コンサート制作業務あたる企業より現在のコンサート業界の最先端では何が行われているのか、新しい技術は何か、それに見合った講師はいるか、などといった支援を受けており実際にカリキュラム内に反映することが出来る。また、ホットスタッフプロモーションが運営しているコンサート会場へ学生が見学や職業体験として参加することが出来る。コンサートの実施に於いては赤坂BLITZとの提携に於いて、同会場を実施で4回、見学を合わせると8回程度使用している。実際のコンサート会場で実施するライブ実習は一般のお客さんが来場する本物のライブとして実施されています。年間で使用が確約されているのも連携が取れていることから授業のカリキュラムとして実施出来ています。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ベーシック プロダクト1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、全てのコースの基礎部分を実習形式で学習します。	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S
ベーシック プロダクト2	一般照明の種類・効果・照明プランニング、ミキサー・スピーカー・エフェクター・舞台装備などの取り扱い方を習得します	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S
ライブプロダクト2	2年間の集大成として卒業コンサートを行い、プロアーティストのコンサート全般の運営(企画・制作・舞台・PA・照明)を実施します。	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針			
常に新しい技術や知識が必要となるエンタテインメント業界では特に2020年東京オリンピック開催に向けて急速な変化がもたらされる事は十分考えられ、そのため国内のみならずグローバルに活躍できる人材の輩出を目的とした高度な技術、知識。さらに豊かな発想力。また広く親交を深められる協調性を持った人材を育成して「事が重要と考え、業界知識にとどまらない研修を実施する。			
(2)研修等の実績			
①専攻分野における実務に関する研修等			
平成28年7月6～8日 第3回 ライブ&イベント産業展 会場 幕張メッセ			
リードエグジジビジョンジャパン社が実施するこのイベントを訪れ、現在業界で使用されている様々な機器、またそれについての活用法などを知る機会とした。ライブとイベントに関連する企業520社が出展し、企画・運営、機材、グッズ製作、キャストティングやライブ配信などに於いての、知見を広げている。本年度は特別講演として一般社団法人コンサートプロモーターズ協会会長、中西健夫氏の『コンサート業界の第一人者が見据えるライブ・エンタテインメントの「現在」と「理想の未来像」』や、文化庁三木忠一氏の「オリンピックまでに、史上最大20万件のイベントを」なども聴講。			
②指導力の修得・向上のための研修等			
平成28年3月31日 キャンパス内に於いて学科教員、及び八王子キャンパスコンサート・イベント科教員と共に開催。今年度の振り返りとして、学生の動向や学習進捗状況、問題点などを話し合い、次年度での指導方法、新規教材使用の検討なども実施。			
(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
平成29年5月31日～6月2日 第4回 ライブ&イベント産業展 会場 幕張メッセ			
リードエグジジビジョンジャパン社が実施するこのイベントを訪れ、現在業界で使用されている様々な機器、またそれについての活用法などを知る機会としています。ライブとイベントに関連する企業520社が出展し、企画・運営、機材、グッズ製作、			
②指導力の修得・向上のための研修等			
平成29年3月 キャンパス内にて教員を対象に開催 本年度の振り返りとして、学生の動向や学習進捗状況、問題点などを話し合い、次年度での指導方法、新規教材使用の検討なども実施。			
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1)学校関係者評価の基本方針			
学科のカリキュラムや育成される人材等を企業等に所属する学校関係者から評価してもらい、専門科目以外にも一般科目におけるビジネスマナーや社会人基礎力養成等、次年度以降のカリキュラムに反映させている。また中期・長期にわたる学科の将来性について委員会等で引き続き項目を検討し、次世代に必要とされる人材教育の研究に役立てている。			
昨年度の学校関係者評価に基づき、学校関係者から「企業連携等を強化し、専門学校の特徴である職業教育を充実させた方が良い」という意見があったので、本科では企業と連携した設計課題の作成を授業に取り入れ、地元大田区の企業の方を招いて講習会を実施して連携強化に取り組んだ。また、次世代に必要とされる人材教育の研究に役立てるため、連携企業における研修においても業界の最新情報を収集し、教員のスキルアップを図った。			
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目	
(1)教育理念・目標		(1)教育理念・目標	
(2)学校運営		(2)学校運営	
(3)教育活動		(3)教育活動	
(4)学修成果		(4)学修成果	
(5)学生支援		(5)学生支援	
(6)教育環境		(6)教育環境	
(7)学生の受入れ募集		(7)学生の受入れ募集	
(8)財務		(8)財務	
(9)法令等の遵守		(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献		(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流			
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3)学校関係者評価結果の活用状況			
教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。			
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成28年4月1日現在			
名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	IT企業等委員/ 卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 顧問	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等 委員/卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興 協会)教育事業部教育推進グループセクションチーフ	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ/ デザイン企業等委員
浅野 和人	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
須賀 寛光	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長 進路指導副部長	平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年)	学校関連
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等			
(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期			
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )) 平成28年9月12日			
URL: <a href="http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/27_kobetsuhyoka_kmt.pdf">http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/27_kobetsuhyoka_kmt.pdf</a> (自己評価表)			
<a href="http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_kankeisyahyoka_kmt.pdf">http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_kankeisyahyoka_kmt.pdf</a> (学校関係者評価結果)			

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係	
(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針	
<p>教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。</p> <p>また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。</p>	
(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法	
URL: <a href="http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_opendata_kmt.pdf">http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/17073/28_opendata_kmt.pdf</a>	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル1	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ビジネススキル2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ベーシックスキル1	音楽業界・放送業界で必要な専門知識の基礎を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ベーシックスキル2		1・後	15	1	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			キャリアデザイン2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ1	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ2		1・後	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション1	資料のまとめ方、発表法などプレゼンテーションに必要な技法を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション2		1・後	15	1	○			○		○		
○			イントロダクション	新入生オリエンテーションと導入教育を行います。	1・前	120	8	○			○		○		
		○	資格対策講座1	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	1・前	15	1	○	△		○		○		
		○	資格対策講座2		1・後	15	1	○	△		○		○		
		○	特別講義1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	15	1		△	○	○			○	
		○	特別講義2		1・後	15	1		△	○	○			○	
		○	海外研修1	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。（研修先、行程は毎年異なります）	1・通	30	1		△	○	△	○	○		
		○	ボランティア1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	1・通	30	1		△	○		○	○		
		○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	1・通	30	1		△	○		○		○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ベーシックスキル3	社会人になるにあたってのビジネスマナー、著作権等法規、音楽基礎知識、パソコンスキル、一般常識等、幅広く学習します。	2・前	15	1	○	△		○		○		
		○	ベーシックスキル4		2・後	15	1	○	△		○		○		
○			キャリアデザイン3	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	2・前	15	1	○			○		○		
		○	キャリアデザイン4		2・後	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ3	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	2・前	15	1	○	△		○		○		
		○	ワークショップ4		2・後	15	1	○	△		○		○		
		○	資格対策講座3	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○			○		○		
		○	資格対策講座4		2・後	15	1	○			○		○		
		○	特別講義3	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	15	1	○			○		△	○	
		○	特別講義4		2・後	15	1	○			○		△	○	
		○	海外研修2	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。（研修先、行程は毎年異なります）	2・通	30	1		△	○		○	○		
		○	ボランティア2	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	2・通	30	1		△	○	△	○	○		
		○	インターンシップ2	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。また、内定企業で行われる長期研修です。	2・前	420	14			○		○		○	
○			英語1	日常会話から始まり、海外研修で使える程度までを学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			英語2		1・後	15	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ミュージック ジョブ 1	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	1・前	30	2	○			○			○	
○			ミュージック ジョブ 2		1・後	30	2	○			○			○	
○			コンサート概 論 1	コンサートに関する全ての知識を学び、単なる技術者としてだけでなく、業界をリードする人材としての知識、能力も身に付けます。	1・前	45	3	○	△		○			○	
○			コンサート概 論 2		1・後	45	3	○	△		○			○	
○			ス コ ア リ ー ディング 1	音楽系スタッフとして大切なスコア（総譜）の読譜を代表的な曲を使用しながら学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○			ス コ ア リ ー ディング 2		1・後	15	1	○			○			○	
○			ライブステ ージ鑑賞 1	アーティストの生演奏や講演などを聞き、アーティ スト及び周辺も含めたプロの技術を学びます。	1・通	30	2			○	○		○		
		○	特別講義A	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催しま す。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	特別講義B		1・後	30	2	○			○			○	
○			ベーシックプ ロダクト 1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解し つつ、全てのコースの基礎部分を実習形式で学習し ます。	1・前	180	6		△	○	○			○	○
○			ベーシックプ ロダクト 2	制作運営の基礎を学び、現場スタッフの仕事を実践 します。一般照明の種類・効果・照明プランニン グ、ミキサー・スピーカー・エフェクター、舞台設 備などの取り扱い・使い方などを習得します。	1・後	135	4		△	○	○			○	○
○			ライブプロダ クト 1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解し つつ、本番を意識しながら、安全かつ的確な作業を 実習形式で学習します。また1年次のまとめとして 行うコンサート制作でもあり、全コース合同で1つ のコンサートも作り上げます。	1・前	45	1		△	○	○			○	
○			ミュージック ジョブ 3	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	ミュージック ジョブ 4		2・後	30	2	○			○			○	
○			作品研究 1	プロとして知っておくべき名曲をポピュラー音楽中 心に歴史をたどりながらCD・ビデオDVDなどで知 ります。またポピュラー音楽以外にクラシックから民 族音楽まで、すべて音楽ジャンルの学習を行います。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	作品研究 2		2・後	15	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンタテインメントプロデュース1	様々な音楽ソフトやエンターテインメント、アーティストを研究し、なぜビジネスとなったかなどを研究し、業界で活躍できるスキルを学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	エンタテインメントプロデュース2		2・後	15	1	○			○			○	
○			音楽ビジネス・マネージメント1	1年次で学んだマナーと常識、業界知識を活かした、更に高度な実際に音楽業界に就職した際のビジネスに関わる事を学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	音楽ビジネス・マネージメント2	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	2・後	15	1	○			○			○	
		○	ライブステージ鑑賞2	アーティストの生演奏や講演などを聞き、アーティスト及び周辺も含めたプロの技術を学びます。	2・通	30	2			○		○	○		
		○	特別講義C	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	特別講義D		2・後	30	2	○			○			○	
○			コンサートプロダクト1	マーケティングを行い、効率的なプロモーション方法を研究します。学内施設を中心としたコンサートを繰り返しながら各コースのプロとしての能力を心身ともに高めます。	2・前	180	6		△	○	△	○		○	
		○	コンサートプロダクト2	出演交渉や調整を行います。また、予算の管理など、すべてのとりまとめ方を学びます。	2・後	135	4		△	○	△	○		○	
○			イントロダクション2	就職活動に向けての対策を行い、必要な知識を学びます。	2・通	90	3	○			○		○		
		○	インターンシップ3	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	2・通	60	2			○		○		○	
		○	ライブプロダクト2	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、本番を意識しながら、安全かつ的確な作業を実習形式で学習します。また、2年間の集大成として卒業コンサートを行い、プロアーティストのコンサート全般の運営（企画・制作・舞台・PA・照明）を全コースが力を合わせて実施します。	2・後	45	1		△	○	△	○		○	○
		○	カレッジプロジェクト	学生委員会、ワークショップなどで計画したプロジェクトや自主コンサート、ボランティア活動などを実行します。	2・通	60	2		△	○	○	△	○		
合計				62 科目	2520 単位時間 ( 116 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1275時間(64単位)取得および選択科目を450時間(20単位)以上取得し、合計1725時間(84単位)以上取得すること		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。